



公開フォーラム

アーカイブの公共性とアクセス:アメリカの経験、日本の経験

開催のご案内

アーカイブは組織や社会の記録を公共知として伝えてゆく仕組みです。行政や企業など、社会に大きな影響を与える組織の運営や事業に関する資料の適切な保存と、メタデータの整備などによる情報アクセスの提供によって、アーカイブの公共性は支えられています。

このたびアメリカのアーカイブ界のリーダーたちが来日し、日本側の専門家とともに市民によるアクセスという観点から日米の現状を比較し相互に経験を学ぶ公開フォーラムを開催することになりました。この機会に、ひろく日本の関係者の皆さまとともに一堂に会し、近年再秘密指定などで大きく揺れているアメリカの状況を学ぶとともに、日本のアーカイブの現状を今一度新しい地平で再評価するきっかけにしたいと考えます。歴史と記憶をめぐる文化が大きく異なる日米での経験を共有し、さらには日米の問題意識を普遍化することで、今後アーカイブが、果たすべき社会的役割の充実にむけた活動の手がかりを求めようではありませんか。

日程: 2007年5月11日(金) 13:30~17:00(開場13:00)

参加費無料・要申込

会場: 東京大学 山上会館 2階・大会議室(定員100名)

東京都文京区本郷7-3-1 ([http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_00\\_02\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html))

お申込方法

4月1日より  
先着順受付開始

参加ご希望のかたは、お名前(漢字およびローマ字)・ご所属(日本語および英語)・ご連絡先(メールアドレスまたはファクス番号)を明記の上、電子メールまたはファクスで下記までお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。

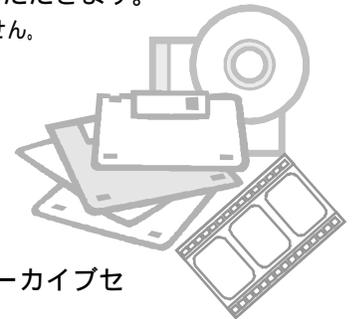
本件で取得した個人情報、今回のシンポジウム以外の目的には使用しません。

参加申込/問合せ先: 日米アーカイブセミナー実行委員会事務局

〒251-0045 藤沢市辻堂東海岸3-8-24 国際資料研究所内

FAX 0466-31-5061

E-mail: [USJARCH@shibusawa.or.jp](mailto:USJARCH@shibusawa.or.jp)



企画・主催: 米国アーキビスト協会、横断的アーカイブズ論研究会、日米アーカイブセミナー実行委員会

助成: 日米友好基金・独立行政法人国際交流基金日米センター(申請中)

協力: 米国国立公文書館記録管理庁(NARA)、財団法人渋沢栄一記念財団、国際資料研究所

後援: ARMA東京支部、企業史料協議会、記録管理学会、独立行政法人国立公文書館、情報保存研究会、専門図書館協議会、全国大学史資料協議会、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、東京大学大学院情報学環、日本アーカイブズ学会、文化資源学会【五十音順】

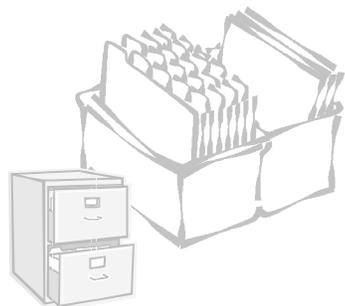


公開フォーラム <http://www.shibusawa.or.jp/SH/0703/annai0320a.pdf>

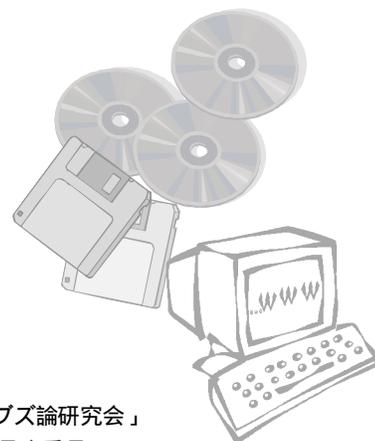
専門家会議 <http://www.shibusawa.or.jp/SH/0703/annai0320b.pdf>



# 日米アーカイブセミナー JAPAN-US Archives Seminar



## 公開フォーラム アーカイブの公共性とアクセス： アメリカの経験、日本の経験 【プログラム】



日時 2007年5月11日(金) 13:30 - 17:00

会場 東京大学 山上会館 大会議室

【用語：日本語・英語、同時通訳付】

- 13:30-13:50 **開会挨拶** 八重樫純樹 (静岡大学 情報学部 教授、「横断的アーカイブズ論研究会」研究代表者、日米アーカイブセミナー実行委員会委員)
- 趣旨説明** 小出いずみ (渋沢栄一記念財団 実業史研究情報センター長、日米アーカイブセミナー実行委員会副委員長)
- 13:50-14:30 **基調講演** 「アメリカ合衆国におけるアーカイブの姿勢とアクセス」  
トルディ・ハスカンプ・ピーターソン  
(元米国国立公文書館記録管理庁長官代理、  
元米国アーキビスト協会会長 [1990-1991])
- 14:30-16:30 **パネルディスカッション** 「アーカイブの公共性とアクセス」  
司会：吉見俊哉 (東京大学大学院 情報学環長)
- [14:30-15:00] **アメリカの経験**  
「NARAにおける米国政府記録へのアクセス」  
デイビッド・メンゲル (米国国立公文書館記録管理庁 特別閲覧・情報公開担当  
チーフ)  
「板挟み 米国における州政府記録へのアクセス」  
リチャード・ピアス=モーゼス (アリゾナ州図書館公文書館 デジタル政府情報  
統括長、前米国アーキビスト協会会長 [2005-2006])  
「米国の大学における行政記録と手稿コレクションへのアクセス」  
マーク・グリーン (ワイオミング大学 アメリカ文化遺産センター所長、米国ア  
ーキビスト協会会長 [2007-2008])  
「ビジネス・アーカイブへのアクセス 米国流アクセスの哲学」  
ベッキー・H・タウズィ (クラフト・フーズ社 グローバル・アーカイブズ部長)
- [15:00-15:15] **休憩**
- [15:15-15:40] **日本の経験 日米専門家会議をふまえて**  
富永一也 (沖縄県公文書館 公文書主任専門員)  
**コメント** フィリップ・ブラウン (オハイオ州立大学 歴史学部 準教授)
- [15:40-16:00] **日米のアクセスを比較して 日米専門家会議からの報告**  
古賀崇 (国立情報学研究所 情報社会相関研究系 助手)
- [16:00-16:30] **質疑応答**
- 16:30-16:40 **休憩**
- 16:40-16:50 **提言の採択** トルディ・ハスカンプ・ピーターソン
- 16:50-17:00 **閉会挨拶** 小川千代子 (国際資料研究所代表・日米アーカイブセミナー実行委員長)
- 17:30-19:00 **レセプション (会費 1,000円)**